

天竜区緑恵台土砂崩落に係る第三者による技術的検証会（第1回）

開催概要

1. 日時：令和4年11月15日（火）10:00～11:10
2. 場所：浜松市役所本庁舎8F 第5委員会室
3. 出席委員：
 沢田 和秀 岐阜大学 教授
 松田 達也 豊橋技術科学大学 准教授
4. 次第：
 - （1）開会
 - （2）技術的検証会の趣旨
 - （3）天竜区緑恵台土砂崩落原因調査の報告
 - （4）閉会
5. 議事概要：
 別添のとおり



写真：技術的検証会（第1回）開催状況

天竜区緑恵台土砂崩落に係る第三者による技術的検証会（第1回）

議事概要

1. 応急対策・避難指示解除について

- ・ 応急対策として、堆積した崩落土砂を撤去し、更に崩落する可能性がある箇所への対策として大型土のう築堤工（H=3.0m）及び沈砂池を設置。
- ・ 応急対策が完了したこと、観測の結果、降雨等による斜面の変状が観測されていないことから、発令していた避難指示は11月15日（火）正午に解除する。

<検証委員>

- ・ 上記対応について妥当である。

2. 地質調査結果について

- ・ 4箇所で行ったボーリング調査の結果、盛土と造成盛土の境界が判明、盛土は2.6~3.2mの厚さがありシミュレーション結果と概ね一致。
- ・ 崩落した土砂は、盛土されたものと判明。

<検証委員>

- ・ 上記調査結果は妥当である。

3. 災害発災メカニズム

- ・ 台風による豪雨が誘因となり以下の順で崩落に至ったと考える。
 - 1) 盛り土は盛りこぼされており、空隙が多く、水を吸収・貯留しやすい状態であり、排水施設もなかったものと推定。
 - 2) 台風第15号の大雨により盛り土内の地下水位が上昇、盛り土土塊重量が増加。
 - 3) 斜面下方で小規模崩落や土砂流出が発生、段階的に斜面上方へ崩落が波及。
 - 4) 斜面上部が崩落、大量の水を含んだ泥流が流出し家屋を破壊。

<検証委員>

- ・ 上記考察について妥当である。

4. 残存盛り土対策

- ・ 地質調査等の結果、約3,300 m³の盛土の撤去が必要
- ・ 盛土撤去後、安定勾配で法面整形し、排水施設を設置予定

<検証委員>

- ・ 上記対応について妥当である。

5. 今後の予定

- ・ 土質試験結果を反映した残存盛土対策の詳細については第2回で検証予定